

うと市議会だより



編集 / 議会だより編集委員会
発行 / 宇土市議会 令和3年2月1日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313
<https://www.city.uto.lg.jp/>



新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催された成人式

1月10日（日），ecowin宇土アリーナ（宇土市民体育館）で令和3年成人式が開催されました。今年は，コロナ禍での開催となり，例年とは違うマスク姿での成人式となりましたが，友人との久しぶりの再開に喜び合い，記念撮影するなど会場は笑顔であふれていました。

主な内容

P2	令和2年第1回臨時会
P3	令和2年12月定例会
P4～P13	一般質問
P14～P16	委員会報告
P17～P18	議案・陳情等の議決結果
P18	編集後記

新体制での市議会がスタート —— 令和2年第1回臨時会 ——

第1回市議会臨時会を10月21日に開催しました。

臨時会では、柴田正樹前議長、嶋本圭人前副議長から出された辞職願が議題とされました。議決の結果、辞職が許可されたため正副議長の選挙が行われ、議長に中口俊宏議員、副議長に芥川幸子議員が選出されました。

また、任期満了に伴う議会運営委員会及び各常任委員会、特別委員会委員の選任並びに宇城広域連合、上天草・宇城水道企業団、熊本県後期高齢者医療広域連合議員の選挙が行われ、新しい議会体制を決定しました。

市長提出議案として、市監査委員の選任、専決処分の報告及び承認1件が上程され、原案のとおり決定し、柴田正樹議員が議会選出の監査委員として選任されました。

正副議長の就任挨拶



議長 中口 俊宏 議員



副議長 芥川 幸子 議員

市民の皆様には、日頃より市議会に対し、深い御理解と御協力を賜り心から感謝申し上げます。私たちは、昨年十月二十一日に開かれた市議会臨時会におきまして、議員各位の御推挙により議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じますとともに、改めて、その重責を実感しているところであります。

昨今、国が推進している地方創生では、人口減少に伴う地方の衰退に対し、地方がそれぞれの将来ビジョンを明確に持ち、独自の施策を打ち出し、推進していくことで、国に頼らない、正に生き残りをかけた地方独自の発展が求められています。そのためには、市民・行政・議会が密接に連携し、協働していくことが重要となります。

現在、本市では、熊本地震からの復旧・復興、また新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ地域経済対策等重要な政策課題が山積しております。市議会におきましては、議会改革の一環として、昨年からタブレット端末を導入し、紙資料の削減やオンライン上での議員間の情報共有等議会の効率化に向けた取り組みを実施しています。今後、新しい時代の流れに沿った議会運営の在り方を模索しながら、コロナ禍からの一日も早い経済回復はもちろんのこと、本市の更なる発展を目指し、より豊かで魅力あるまちづくりに向けて、誠実に一生懸命職務に邁進する所存であります。

今後とも、市民の皆様の一層の御支援助と御協力を心からお願い申し上げます。就任の御挨拶いたします。

○議会運営委員会

委員長	副委員長	委員
櫻崎政治	野口修一	杉本信一 藤井慶峰 平江光輝 宮原雄一

○総務市民常任委員会

委員長	副委員長	委員
園田茂	佐美三洋	福田慧一 中口俊宏 宮原雄一 今中真之助

○経済建設常任委員会

委員長	副委員長	委員
西田和徳	小崎憲一	村田宣雄 杉本信一 山村保夫 藤井慶峰

○文教厚生常任委員会

委員長	副委員長	委員
野口修一	平江光輝	芥川幸子 櫻崎政治 柴田正樹 嶋本圭人

○地域高規格道路促進等対策特別委員会

委員長	副委員長	委員
宮原雄一	小崎憲一	村田宣雄 野口修一 櫻崎政治 平江光輝 嶋本圭人 西田和徳 今中真之助 佐美三洋

○法令に基づく各種議員

議会選出監査委員	柴田正樹
宇城広域連合議会議員	福田慧一 中口俊宏 柴田正樹
上天草・宇城水道企業団議会議員	杉本信一 山村保夫
熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員	中口俊宏

令和2年 12月定例会

12月定例会を11月30日から12月15日まで、16日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市指定管理者の管理する公の施設に係る関係条例の整備に関する条例など条例関係11件、令和2年度一般会計補正予算など予算関係9件、その他7件、人事案件2件、議員提出議案として尖閣諸島周辺海域での中国公船による漁船追尾等に関する意見書の1件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

また、令和2年9月定例会で、決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査としていました令和元年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算8件を認定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、議決結果は17～18ページに、各委員会での審査内容は、14～16ページに記載しています。

条例

◆宇土市指定管理者の管理する公の施設に係る関係条例の整備に関する条例

指定管理者制度を導入している本市の公の施設について、使用料、利用料金等の統一的な運用を図るため、条例を改正するもの。

【関係条例】

- 第1条改正 宇土市健康福祉館条例
- 第2条改正 宇土市長浜福祉館条例
- 第3条改正 宇土市老人福祉センター条例
- 第4条改正 宇土市老人ホーム条例
- 第5条改正 宇土マリーナ条例
- 第6条改正 宇土マリーナ物産館の設置及び管理に関する条例
- 第7条改正 宇土市公民館条例

【主な内容】

関係条例において使用料及び利用料金の還付に関する規定を設けるほか、市が公の施設を管理する場合の取扱い等について所要の整備を行う。

【施行日】

令和3年4月1日（ただし、第7条改正中宇土市公民館条例第14条第1項の改正規定は公布の日）

◆宇土市国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の改正に伴い、条例を改正するもの。

【主な内容】

- 国民健康保険税の減額の対象となる所得基準の見直し。
- (1)基礎控除額 変更前 33万円
変更後 43万円
- (2)軽減判定所得の算定において、被保険者のうち一定の給与所得者と公的年金等の支給を受ける者の数の合計数から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加える。

【施行日】

令和3年1月1日

予算

◆令和2年度宇土市一般会計補正予算（第12号）

歳入歳出それぞれ7億886万6千円増額し、総額を256億6,165万9千円とする。主なものは、ふるさと宇土応援基金経費、障害児施設給付サービス事業経費の増額補正。

◆令和2年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ7,982万6千円増額し、総額を44億7,244万8千円とする。一般被保険者高額療養費負担金等の増額、及び国保事業費納付金等の減額補正。

人事

◆人権擁護委員の候補者の推薦（任期3年）

福成寺 託真 さん（新任）
中松 裕子 さん（新任）

その他

◆指定管理者の指定

指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

公の施設の名称	指定管理者となる団体	指定の期間
網田レトロ館	NPO法人網田倶楽部	令和3年4月1日～
宇土市健康福祉館	九州総合サービス株式会社	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日
宇土市老人福祉センター	社会福祉法人	令和3年4月1日～
宇土市西部老人福祉センター	宇土市社会福祉事業団	令和6年3月31日
宇土市養護老人ホーム芝光苑	株式会社グッドスタッフ	令和3年4月1日～
宇土市軽費老人ホーム（B型）芝光苑	株式会社グッドスタッフ	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日
宇土マリーナ	網引地区振興会	令和3年4月1日～
宇土市網津公民館網引分館	NPO法人宇土の文化を考える市民の会	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日
宇土市民会館		

◆令和2年度宇土市一般会計補正予算(第12号)

歳入歳出それぞれ7億886万6千円を増額し、総額を256億6,165万9千円とする。

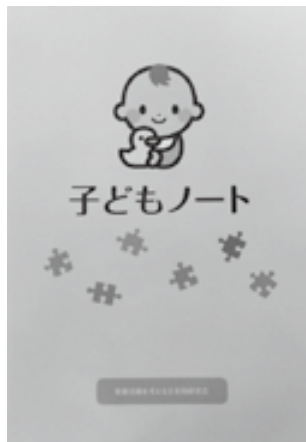
費目 (歳出概要)	補正額 (千円)	歳出の主なもの () 内は補正額【単位：千円】 ▲は減額補正
総務費	438,538	電子納品管理システム導入事業〔新型コロナウイルス対策分〕(15,586)、ふるさと宇土応援基金経費(416,959)
民生費	195,585	障害者福祉サービス事業経費(51,732)、障害児施設給付サービス事業経費(79,847)
衛生費	2,347	廃棄物減量化対策経費(3,005)
農林水産業費	▲92,725	つつじヶ丘農村公園照明施設整備事業(13,330)、緊急自然災害防止対策事業〔農業水路等長寿命化・防災減災事業〕(▲118,162)
土木費	36,799	被災宅地復旧支援事業〔H28 熊本地震復興基金〕(34,751)
消防費	33,306	五色山防災広場整備事業(25,306)
教育費	70,387	新型コロナウイルス感染症対策事業〔学校教育課分〕(14,000)、花園幼稚園擁壁整備事業(22,826)
災害復旧費	24,297	令和2年7月豪雨災害対策経費〔史跡宇土城跡保存整備事業〕(24,423)
公債費	332	公債費 元金(332)

令和2年12月宇土市議会定例会 一般質問一覧表

【一般質問】

発言順	氏名	質問事項(大項目)	掲載ページ
1	芥川 幸子	(1) 行政手続きについて (2) 日常生活用具給付事業について (3) 子どもを産み育てやすい環境づくりについて	5
2	藤井 慶峰	(1) 第八代横綱 不知火諾右衛門墓碑公園の整備について	6
3	野口 修一	(1) 生活の安全安心と市内災害ボランティア (2) ゴミとプラスチック	7
4	檜崎 政治	(1) セキュリティ対策及び個人情報漏えい対策について (2) キャンプ場について	8
5	平江 光輝	(1) 新庁舎建設工事発注方式等の方針について(入札方法) (2) 財政の健全化について	9
6	宮原 雄一	(1) 複式学級について (2) 緑川地区定住対策について	10
7	今中 真之助	(1) 教育行政について (2) 有害鳥獣対策について	11
8	佐美 三洋	(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について (2) 農林漁業者に対する国及び本市の経営継続補助金について	12
9	福田 慧一	(1) 新型コロナによる介護事業所の影響について (2) コロナ危機からくらしと営業を守る問題について (3) 学校給食の取り扱いと就学困難な児童生徒の支援について	13

※上記質問事項については、一部記事として掲載されていない場合もあります。



育児情報満載の子どもノート

どこよりも、子どもを産み育てやすい環境づくりを!

行政手続きについて



(公明党)

芥川 幸子 議員

問 行政手続きのデジタル化でオンライン申請の推進について、国が運営しているマイナンバーカードを活用したマイナポータルの電子申請機能「びったりサービス」の活用現状と今後の利用拡大について。

答 現在、子育て分野において、母子手帳交付や児童手当等の現況届など15の手続きを提供している。今後は、他自治体の動向を注視しながら、市民の利便性を考慮し、利用拡大に向けたオンライン申請の推進に取組んでいく。

問 行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直しについて。

答 本市においては、行政手続きにおける押印廃止や書面主義の見直しを図るため、令和3年度から5年間を計画とする「第9次宇土市行政改革大綱」にこれらを盛り込み、行政手続きに

おける押印廃止やオンライン化を推進することとしている。今後、国の動向に注視しつつ、市民の負担軽減と事務の簡素化、そして何よりも感染防止策の取組として、見直しを検討していく。

(総務部長)

日常生活用具給付事業について

問 本市の日常生活用具として、網膜色素変性症の方に有効な「暗所視支援眼鏡」の導入ができないか。

答 他自治体の状況として、全国で初めて天草市が給付対象としており、他自治体の導入も徐々に増えてはいるが、全国的にはまだ少ない状況。このようなことから、今後も暗所視支援眼鏡の利用効果やニーズについて、先進地からの情報収集に努め、他自治体の動向に注視していく。

(健康福祉部長)

子どもを産み育てやすい環境づくりについて

問 男性の育児休業の取得促進について。

答 男性の育児休業の取得率を高めるためには、社会全体の意識改革が必要であると考え、令和2年度からの5年を計画期間とした「第2期宇土市子ども子育て支援事業計画」の中に、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発、育児・介護休業法の事業所等への周知などを盛り込んだ。また、市役所の男性職員においても育児休業の取得が進んでいない状況なので、管理職を中心に、お互いに理解し支援する職場の雰囲気づくりに加えて、男性職員自らも育児を行うという意識醸成に努めていく。

(市長)

問 子どもの誕生を祝福して、商品券などを出産祝いとして支給したらどうか。

答 平成18年度からごみ袋の支給を行っていたが、来年度から子どもノートの配布に切り替える予定。引き続き、妊娠期から子育て期に切れ目のない支援に重点を置いた事業に取組んでいく。

(市長)



整備された第八代横綱不知火諾右衛門の墓

第八代横綱不知火諾右衛門の墓の公園化について

奉賛会に対する支援について



(無所属)
藤井 慶峰 議員

問 轟地区の栗崎町には、江戸時代に活躍した第八代横綱不知火諾右衛門の墓があり、地元奉賛会の皆様が、雑木や草が生い茂っていたものを綺麗にされ、階段も整備されている。

横綱白鵬関も墓前にて不知火型の土俵入りを奉納された。その事と、正代関の活躍もあって、県内だけでなく県外からも参拝に来られるようになった。

奉賛会の希望では、この墓碑周辺を市の公園として整備して頂きたいとの事である。お墓に登る階段は、傾斜の関係で個人の土地を利用している。

管理については、奉賛会の皆様が協力してやって頂けるということである。ただ、私有地を無料で使わせて頂いていることで、所有者に対して申し訳ない

気持ちで心配しておられるのも事実。その点も踏まえて市長の考えを伺いたい。

答 まず、これまで不知火諾右衛門のお墓を代々守り続けてこられた子孫の皆様、また、草木が生い茂って荒れていた場所を、素晴らしい環境に整備していただいた地域の皆様に対して、御礼申し上げると共に、感謝の意を申し上げます。

また、それまでの地道な活動に加え、平成26年度には「くまもと里モンプロジェクト」の補助金を活用して墓周辺を整備、令和2年度には、有志による宇土不知火諾右衛門保存会が結成されるなど、積極的に活動を続けられている。

第八代横綱不知火諾右衛門は、享和元年（1801）宇土郡轟村栗崎（現在の栗崎町）に生まれ、幼いころから力持ちでならし、大坂相撲では、大関まで昇進。

その後、江戸相撲に挑戦し、天保11年（1840）には、第八代横綱免許を授与される力士になるなど、その実力に時の將軍徳川家慶が活躍を讃え、一首賜る程の名横綱であったと言われている。

不知火諾右衛門は、嘉永7年（1854）に亡くなられており、お墓については、分骨されたあと、故郷である栗崎町の丘の上に建立された。

最近では、地元出身力士の正代関の活躍のおかげで、不知火関のお墓に参拝に来られる方も数多くおられ、中には、県外から来られている。

公園整備については、地域の皆様の活動のおかげで、既に公園と同じくらい整備が整っている状況にある。

市としては、地域ではどうしてもできない部分を、地域の皆様と話し合いながら、公助として、側面からしっかりとサポートしていきたいと考えている。

要望 今後共、地元奉賛会に対してご支援並びにご助言等お願いしておく。

(市長)



「7月豪雨」災害ボランティア活動(球磨村神瀬地区住宅泥出し後に)

生活環境の安全安心, 地域支援ボランティア, 循環型社会

交通指導員と生活安全パトロール隊

問 交通指導員と生活安全パトロール隊は、いつ始まり、どんな活動をしているのか。

答 交通指導員は昭和44年10月1日に発足し、毎月1日・10日・20日の交通安全の日や交通安全運動期間に通学路等で交通指導など実施している。生活安全パトロール隊は平成18年5月1日に発足し、各小学校区内の防犯パトロール、宇土地蔵祭りの特別補導など実施している。

(市民環境部長)

交通安全協会の支部と活動

問 交通安全協会とは、どんな目的を持ちいつ起り、どんな活動しているか、また市内各支部の予算はどうなっているのか。

答 交通安全協会は、交通事故のない安全で快適な交通社会を目指し事業を実施する組織。宇



(宇土市政研「志」)

野口 修一 議員

城地区交通安全協会は昭和28年に発足し、宇土市内に8支部あり会員数は107人。活動は小学校の登下校時の交通安全の街頭指導、ノボリ旗設置、交通安全啓発活動など。各支部予算は地域人口に22円を乗じた金額と基本額3万円が支給されている。

(市民環境部長)

7月豪雨の宇土市から派遣した災害ボランティア活動

問 今年の7月豪雨では、災害ボランティアが県内限定となったことで、宇土市民もたくさん被災地で汗を流した。宇土市からは、どんな思いで参加されたのか、分かる範囲でよいので報告を。

答 このボランティアへの参加動機はアンケート等を行っていないが、参加者の声として、熊本地震の際にボランティアの皆様にお世話になったことへの恩返し、あるいは、少しでもいい

宇土市が今後取り組む生活環境の対策

から自分でできる手伝いをしたい、県民しか参加できないので自分も県民として参加したい等の思いを話されていたと同行した社会福祉協議会職員から聞いている。

(健康福祉部長)

問 廃プラゴミは、世界の政治課題になっているが、循環型社会や持続可能な社会作りから、国の環境政策が変わりつつある中、今後地方が取り組むべきゴミ問題、生活環境維持について、市長の見解をお聞かせください。

答 今後地方が取り組むべきゴミ問題では、政府が進めているプラスチック製品の一括回収を実施する必要があり、また、資源ゴミの分別を徹底し、3Rにおけるリデュース、つまり廃棄物の発生を抑制する施策が必要と考えている。さらにCO₂排出実質ゼロに向けて熊本中核都市圏地球温暖化対策実行計画(現在策定中)の取組を熊本中核都市圏構成市町村で協力して進めていく。

(市長)



キャンプに適している宇土マリーナ芝生広場

個人情報漏えい対策/キャンプ場について



(宇土、みらい)

榎崎 政治 議員

セキュリティ対策及び個人情報漏えい対策について

問 パソコン等のセキュリティ対策の状況について尋ねたい。

答 国が示した対策により、住民基本台帳や税情報等の根幹を成すシステム、地方自治体間のみ接続で公文書の作成など全庁で使用するシステム、インターネット接続システムの3つに分けて業務運用を行っている。また、自治体情報セキュリティクラウドシステムによる監視のほか、暗号化通信、二要素認証、不正アクセス検知等の対策に取り組んでいる。(企画部長)

問 職員が個人情報を取り扱う場合、個人情報が漏れないようにどのような対策を講じているのか。

答 職員の個人情報保護に関する意識を高めることが重要で、毎年、個人情報の安全管理措置に関する研修を実施している。

また、職員が離席する際にノートパソコンを閉じる等の措置を採っている。付与されたID・パスワードの適正管理などの対策のほか、住民基本台帳などを取り扱う職員は、通常のIDとパスワードに加え、一度限り使用できる「ワンタイムパスワード」を活用し、更に強固なセキュリティ対策を講じている。

(総務部長)

問 教職員の不祥事防止については、これまでも徹底してきたと思うが、10月に児童生徒の個人情報が入ったUSBメモリを紛失するという事案が発生した。市立小・中学校における個人情報漏えい防止対策は決まったか。

答 本年11月に、個人情報の漏えい防止等を目的に、個人情報の取扱を明確に示した宇土市立小・中学校「個人情報の取扱」心得5訓を作成し、各小・中学校に徹底を図っている。

(教育部長)

キャンプ場について

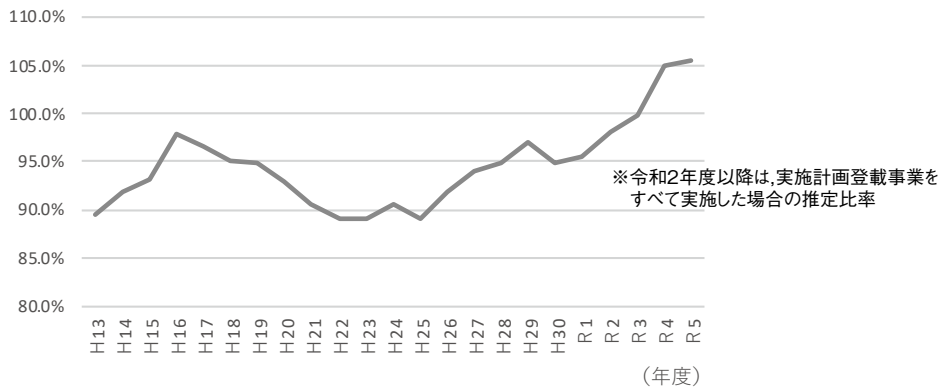
問 空前のキャンプブームであるが、立岡自然公園キャンプ場はそこまで増えているように思わない。市のホームページを見てもわかりづらく、あまりPRしていないのではないか。今後の対策は。

答 ホームページの内容充実に努め、キャンプ関連情報誌等への掲載依頼など周知徹底を図る。

(教育部長)

問 宇土マリーナ芝生広場でキャンプができることはあまり知られてない。道の駅物産館が併設しており、売上げ増加にもつながる。今後、キャンプ場としての利用についてどのように考えているか。

答 次期指定管理候補者から芝生広場の活用として、キャンプスペース及びキャンプに伴うレンタル用品の提供を実施したいとの提案があつている。市としても、風光明媚で利便性の高いキャンプができる芝生広場として、次期指定管理者の管理運営が整い次第、市ホームページなどで広く周知を行ってまいりたいと考えている。(市長)



平成13年度からの経常収支比率の推移

財政健全化推進の計画を図るべきではないか

内容となっている。(企画部長)

答 特定建設工事共同企業体の代表構成員以外の構成員の資格要件については、より多くの地元業者に入札に参加する機会を与えることが重要と考え、小規模企業の成長発展及び地域経済の活性化を図ることを考慮した

問 代表構成員以外の構成員の資格要件はどのように考慮しているのか。(企画部長)

答 価格比較のため決定の過程がわかりやすいことが特徴で、総合評価方式とした場合、入札参加者の手続きも煩雑となるため参加意欲に影響がでるのではないかと懸念されるので、条件付き一般競争入札方式を採用した。

問 なぜ価格競争方式による一般競争入札にしたのか。

新庁舎建設工事入札について



(うとしせい会)
平江 光輝 議員

財政健全化について

問 財政の今後の推移として、令和4年度の経常収支比率は何も手立てを講じなければ104.9%となる。どのような要因が関わっているのか、今後どのように見込んでいるのか。

答 これまでの経常収支比率の悪化は少子高齢化に伴う社会保障費等の増加などによるものと考えている。

今後の見通しは、令和4年度から、平成28年熊本地震での災害復旧に伴う起債の償還が本格的に始まる。また、消防本部・北消防署の移転改築、汚泥再生処理センターの建設、及び宇城クリーンセンターエネルギー回収型廃棄物処理施設の改修といった宇城広域連合の大型事業に対する負担金も令和5年度にピークを迎えると予想している。また、今後も続くであろう扶

助費の伸び、更には、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少等、大きな改善を期待できる要因はなく、財政状況はさらに厳しくなると見込んでいる。(総務部長)

問 これからの財政状況を例えるならば令和5年度をピークとした「財政状況の冬の到来」を感じる。今回の財政難を真摯に受け止めるならば、今後早急に平成16年から行った宇土市財政健全化推進プランのような計画にも取り組む必要が出てくるのではないか。

答 この状況が続くとすれば、職員の人件費カットや、市の単独扶助費の見直しなど、多くの市民の皆様にご負担いただくような取組みも考えていかなければならない。

なお、財政の健全化には、歳出の削減だけでなく、歳入を増加させる視点も重要となる。現在「ふるさと宇土応援寄附金」などは増加傾向にあり、貴重な一般財源となっているので、この傾向を維持できるような取組を継続してまいりたいと思っている。(市長)



今後開発が期待される緑川駅周辺

急がれる少子化対策と緑川地区定住促進について

複式学級について

問 本市の小・中学校における学級編制基準はどうなっているのか。それにより今後数年の間に複式学級になる可能性のある学校は。

答 学級編制の基準は法律により定められている。熊本県教育委員会では、単式学級の場合、小学校第3学年から中学校までは40人、小学校第2学年以下は35人。複式学級の場合は、2つ以上の学年をあわせた数が小学校にあつては16人、第1学年を含む場合は8人、中学校にあつては4人という基準が設けられている。

令和3年度の緑川小学校において、2年生が6人、3年生が9人、あわせて15人となり、それぞれ5年生、6年生となるまでの4年間、複式学級が生じる可能性がある。（教育部長）

問 今後、複式学級が生じた場



(六政会)

宮原 雄一 議員

合の学校及び教育委員会の対応と取組について。また小規模特認校制度の導入と学校の統廃合について。

答 複式学級への対応について、まず、「社会性の涵養、多様な考えに触れる機会の確保」について、緑川小と網津小では、合同の修学旅行や集団宿泊教室、中学校への体験入学、小中合同の児童会生徒会のリーダー研修などを行っている。2点目は「切磋琢磨する態度、向上心を高める方策」について、近隣の小学校との合同授業や交流活動、PTA等と連携して各種の検定やコンクールへの参加を積極的に推奨している。3点目は「近隣の学校との協体制の構築」について、複数学校間で学校事務を共同実施、教材教具等を共同利用するシステムを構築していく。

以上のように教育の機会均等

を確保する観点から小規模であるデメリットを解消したり、緩和したりする方策を講じる事が極めて重要である。

小規模特認校制度の導入については、地域からの要望があれば再検討したい。また、学校の統廃合については、現時点では地元からの要望はないが、現状を考えると、今後の方向性について検討を始める時期が来ていると考える。（教育部長）

緑川地区定住対策について

問 地区住民から定住促進対策として緑川駅周辺の住宅開発などが求められているが、本市の取組は。

答 市としては、民間開発事業者へのヒアリングなどを行ってきた。現在、JR緑川駅周辺には空き地が点在しており、民間活力による住宅開発も可能性があると思う。空き地所有者の意向もあるが、緑川地区の定住促進を図るため、今後も継続して民間開発事業者等へ働きかけの必要がある。（企画部長）

年度	捕獲頭数		委託料 (猟友会分)	農業被害額 (農業共済より)
	イノシシ	カラス類		
平成27年度	345頭	211羽	4,769千円	1,374千円
平成28年度	461頭	59羽	8,234千円	851千円
平成29年度	471頭	133羽	8,135千円	810千円
平成30年度	478頭	272羽	8,554千円	805千円
令和元年度	646頭	222羽	10,898千円	550千円

有害鳥獣捕獲頭数等の推移

コロナ禍の学校行事で薄れる国旗国歌の意義 ムラがないよう教育委員会で主導を



(宇土市政研「志」)

今中 真之助 議員

教育行政について

問 学校での任意の色覚検査の結果、異常が見られた児童生徒は本市に何人いるのか、また授業での対処法について問いたい。

答 本年11月末現在、34人である。色覚異常がある児童生徒への授業の対処法については、板書では白と黄色を基本とし、他の色を使う場合は、色の違いの他に、線種を変えるなど違いが分かるようにし、テストでも特に色による判別が困難な問題は、網掛けや斜線で示すなど工夫をしている。(教育部長)

要望 色覚チェック導入の検討を。

問 コロナ禍において学校行事の開催は大変苦慮されているとは推察できるが、時短のために中止するには適切でない国旗掲揚降納や国歌斉唱が軽率に扱われている状況がある。コロナ禍のみならず学校行事における国

歌斉唱国旗掲揚の実施状況と国歌の意味、国旗の意義を教える機会の有無について尋ねる。

答 通常時の卒業式・入学式では、国歌斉唱及び国旗掲揚を全ての学校が実施。運動会等では、国歌斉唱及び国旗掲揚を5校が実施。国旗掲揚のみが5校である。

次にコロナ禍における卒業式・入学式では、国歌斉唱及び国旗掲揚を実施した学校は8校、国旗掲揚のみが2校である。運動会等では、国歌斉唱及び国旗掲揚を1校が実施。国旗掲揚のみが7校、開式・閉式を行わなかったため実施しなかった学校が2校である。

国歌の意味、国旗の意義を教える機会については、小学校学習指導要領(音楽編)において、「国歌は、いずれの学年でも歌えるよう指導すること」となっており、全学年で指導がなされ

ている。また、6年社会科で国旗の意義を理解し、これを尊重する態度を養っている。国旗掲揚の方法は、運動会等の行事を通じて指導が行われている。

(教育長)

要望 しばらくはコロナスタイルが続くだろう。学校ごとにムラがないよう主導して欲しい。

有害鳥獣対策について

問 猪の捕獲数がここ数年増えている。猟友会の負担軽減や猪の生態系を探る上でもICTを活用した捕獲支援策が有効である。同じ宇土半島で活動する宇城市三角町の「くまもと農家☆ハンター」のグループが地域に餌付け防止の指導も行いながらICTを活用した捕獲など多方面で活動している。彼らと連携できないか。

答 地域住民自らが対策を行うために、正しい知識や防除対策・周辺環境整備の考え方の啓発を図ることは必要である。今後は猟友会に委託している捕獲駆除等と併せて、「くまもと農家☆ハンター」と連携していきたい。(経済部長)



零細化する農林漁業者への支援を! (写真は長浜漁港)

農林漁業者の経営安定の一助に! 新型コロナ対応の市補助金引上げを求める!



(無所属)

佐美三 洋 議員

質問趣旨

新型コロナウイルス感染症対策で、農林漁業者を支援する国と市独自の経営継続補助金において、補助内容に大きな差がある。国の補助内容との格差是正のため、市の補助内容の引上げを要望し、市長の考えを求めた。

国からのコロナ対策臨時交付金について

問 まず本年度において国から本市へ交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付額及び当該交付金を基に実施する事業について尋ねる。

答 国の第一、第二次補正予算で、本市に約6億円が交付された。これを基に国・県からの補助金や起債及び財政調整基金を取り崩す等で約7億7千万円の予算を計上している。コロナ禍での市民の不安解消と将来を見

据え、本市が必要と判断する事業について、各部各課で事業展開を行っている。(総務部長)

国と本市の農林漁業者への補助内容の格差是正について

問 国の農林漁業者を支援する経営継続補助金の内容と一次募集の採択結果、併せて不採択者への対応について。

答 国の補助率は対象経費の4分の3、上限額100万円である。本市の一次募集の採択状況は、農林漁業者153名が申請し126名が採択、27名が不採択であった。現在、一次募集の不採択者と新規申請者合わせて76名が二次募集へ申請中である。不採択者に対しては、市独自の経営継続補助金の申請が可能であることを情報提供していく。(経済部長)

問 市独自の農林漁業者を支援する経営継続補助金の内容と申

請受付状況について。

答 市の補助率は対象経費の2分の1、上限額10万円である。現時点では、国の二次募集に申請中であることから申請受付件数は0件である。(経済部長)

問 国の二次募集で不採択となった場合、市の経営継続補助金へと流れてくることが予想される。国と市の補助内容を比べると国の補助率は対象経費の4分の3、市は2分の1、上限額は国が100万円、市は10万円と補助内容に大きな開きがある。国の補助金との均衡を図るため、市の補助率及び上限額の引上げが必要ではないか。できれば補助率を3分の2、補助上限額を50万円まで引き上げること、国の補助金との均衡が図られると考える。零細化する農林漁業者の経営改善の一助となるよう、市長には前向きな検討をお願いする。

答 市の経営継続補助金は、国の不採択者を広く救済することなどを目的に予算化している。今後、国の採択結果を踏まえ不採択者への聞き取り等を行い、補助率や補助上限額の見直しの必要性を検討したい。(市長)



デイサービス事業所での健康体操の様子

介護報酬引き上げ、職員の待遇改善、保険料の据え置きか引き下げを

介護事業所の報酬引き上げ、保険料の値下げを



(日本共産党)
福田 慧一 議員

問 来年4月から第8期の介護事業計画がはじまる。介護事業所は、これまでの介護報酬の引き下げやコロナ感染拡大の影響で経営が厳しくなっている。介護報酬の引き上げと職員の待遇改善をしないと、倒産、廃業などが増え介護を必要とする人にサービスの提供ができない事態が考えられる。国に引き上げと改善を求めるべきだ。保険料については、介護基金の積み立て等が6億円ほどあり、据え置きか引き下げをすべきである。

答 介護報酬を引き上げること、さらには介護給付費を押し上げる要因となり、被保険者の保険料と利用者負担の増加につながる。今後の国の動向を注視し、第8期計画に反映させたい。来

年度からの保険料基準額の値下げは困難だが据え置きを検討したい。また国に対し、国の公費負担割合を拡大し、これ以上市民の負担が増えないよう、強く要望しているところである。

(健康福祉部長)

コロナ危機からくらしと営業を守る対策を

問 コロナ感染が拡大し、その影響で飲食業や小売業、製造業では売り上げが減少し、解雇や雇止めなどの増加により生活困窮者が増え深刻な状況が続いている。生活困窮者や小規模事業者に対し支援策が取られてきたが、コロナ感染が長期化し、これまでの支援策はほとんど使えない切り、このままでは年が越せない。これまでの支援策の期限延長や追加の経済対策を国に要望すべきだ。

答 生活困窮者や事業者に対して市単独で事業を実施するのは財政的な問題もあるため、国や県に対して引き続き財政的な支援や新たな支援策の創設などを要望していく。

(市長)

学校給食費の公会計化を

問 文部科学省は、令和元年7月に学校給食費を各自自治体の公会計に移すよう指針を出した。

この指針では、学校給食費の徴収管理は教員の本来の業務ではなく、教員の負担軽減の立場から、公会計化を促進する必要があるとしている。本市でも公会計化を進めるべきだ。

答 公会計化の取り組みについては、徴収・管理システムの整備と維持における予算措置等の課題があるが、今後とも文部科学省から示されたガイドラインを参考に、学校・関係部署等と協議・課題等を整理し、併せて既に実施している自治体の公会計化に伴う予算規模や人員配置等の状況を把握するなど調査研究を行い、具体的な検討を進めていきたい。

(教育部長)

総務市民

総務部・企画部・市民環境部
行政委員会などを所管



園田茂委員長

《議案関連》

令和2年度宇土市一般会計補正予算 (第12号)

問 災害備蓄用の食糧について、避難者の中には、食物アレルギーを持つ子どももいる。そういった子どもへの配慮は行っているのか。

答 アレルギーに対応した備蓄用食糧も準備しており、食物アレルギーをお持ちの方にも供給できる体制を整えている。

問 ふるさと宇土応援寄附金について、3億円を増額補正となっているが、補正前の3億5,000万円に加え、新たに3億円が寄附があるということか。

答 11月末現在の調定額は4億6,000万円となっており、今年度は6億5,000万円の寄附があると見込んでいる。

問 寄附金の内、どれくらいが市の歳入になるのか。

答 返礼品に係る経費を50%以下に抑えることとなっており、寄附額から経費を引いた額が市の歳入となる。

令和2年度宇土市国民健康保険特別会計 補正予算(第4号)

問 一般被保険者高額療養費負担金が8,200万円の増額補正となっているが、高額療養費の中で、医療費の割合が高くなっている治療は何か。

答 令和元年度は、人工透析の割合が最も高くなっている。また、その他にも、高額薬剤の影響により個人の医療費が高額化するなど、予算が不足する状況となっている。

《議案以外》

令和3年度を初年度とする、第9次行 財政改革大綱について執行部から報告

素案を今年の11月に作成し、現在、素案内容についてパブリックコメントで意見を募集している。今後は、外部委員による宇土市行財政改革審議会での意見等を踏まえ、令和3年2月に策定予定となっている。

10月から実施している網田地区デマ ンドバス実証実験の状況について、執行 部から報告

デマンドバスの利用登録者数は11月末時点で153人である。また、実際に利用された方は10月が18人、11月が35人と徐々に増加している。12月の広報紙にデマンドバスの特集を組み、利用者の声を掲載するなどしているが、更なる利用促進に繋がるよう今後も周知していきたい。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



西田和徳委員長

《議案関連》

宇土市指定管理者の管理する公の施設 に係る関係条例の整備に関する条例

問 宇土マリーナの利用料金の還付に関する規定を設けるとのことだが、具体的にどのような事態を想定しているのか。

答 台風や豪雨といった自然災害等、利用者自身の都合によらない理由により、マリーナの利用ができなかった場合に限り、利用料を還付するということ。昨今は、自然災害が頻発しており、これまでは、還付についての規定がなかったため、今回新たに規定を設けた。

令和2年度宇土市一般会計補正予算 (第12号)

問 市内2箇所のため池については、災害防止対策工事を国庫補助事業に切り替えて実施することだが、それ以外のため池について、補修工事の必要性等の健全度

を判定する現地調査は実施しているか。
答 令和3年度から3箇年にかけて県が劣化状況調査を実施する予定である。その結果に応じて今後の補修計画を作成する予定である。

(委員から意見) 土砂が堆積し、貯水能力が落ちているため池もあるので、補助工事で併せて浚渫も計画的に実施していただきたい。

《議案以外》

地籍調査誤り修正の進捗及び今後の 予定について、執行部から報告

令和2年度においては、『平成23年度調査区域の14字』及び『平成24年度調査区域の7字』の計21字の再調査を実施しており、10月末までに対象区域の現地立会を一通り実施したところである。現地立会時に、保留となった土地については、現在、再度立会いを実施しており、立会いが終了したところから、順次、地積測量に入る予定としている。また、昨年度の地籍調査結果については、8月に閲覧を実施しており、今後、国県へ認証請求を行うこととしている。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



野口修一委員長

《議案関連》

宇土市民会館の指定管理者の指定

問 指定管理候補者について。

答 候補者となっているNPO法人宇土の文化を考える市民の会は、平成20年度から市民会館の指定管理者となっており、今回4期目となる。指定管理者制度導入前と比較すると、入館者も事業の本数も増えており、活動は活性化していると考えている。

問 新型コロナウイルスの影響で、休館せざるを得なくなり、収入が無い時期があったと思うが、それに対して市は補填する考えはあるのか。

答 赤字補填については、市全体の方針に関わることであり、全庁的な協議が必要だと考えている。

令和2年度宇土市一般会計補正予算(第12号)

問 高齢者の単身世帯等を対象とした緊急通報体制等整備事業について、利用者数及び経費の内容は。

答 利用者は約40人で、経費は業者への委託料である。

(委員から意見) 委託料が5年間で1,782万円必要であるのに利用者が40人では費用対効果が悪いと感じる。利用者を増やすような取組をお願いしたい。

問 市内小中学校の空調整備が完了して3年ほど経つが、電気料金はどのくらい増加したか。

答 平成29年度に空調整備が完了している。熊本地震前年の平成27年度と平成30年度と比較すると電気料金は約1,000万円増加している。

(委員から要望) 今後、委員会で比較検討するため、学校ごとのデータを出してもらいたい。

令和2年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

問 コロナ禍において、特定健診の受診率はどうなっているか。

答 特定健診は例年4月から9月まで実施しているが、今年度は新型コロナウイルスの影響で時期をずらして7月から来年の1月までの実施となっている。現在、日程の3分の2ほどが終わった段階であるが、最終的な受診者数は昨年の6割程度になるのではないかと推計している。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



宮原雄一委員長

《執行部からの説明》

熊本・宇土道路及び宇土道路における予算配分、用地進捗率、事業進捗率は、前回の報告から変更はない。

宇土道路

平成31年度繰越事業について、工事では、「熊本57号 上網田橋下部工(A2) 外工事」で工期の延長が行われている。

令和2年度事業について、調査設計では、「令和2年度 宇土道路外地質調査業務」、「令和2年度 宇土道路長浜橋詳細設計業務」の2件で契約締結がなされ実施されている。

工事では、「熊本57号 水谷地区工用道路工事」の契約締結がなされ、工事に着手されており、また、新たに「熊本57号 笹原トンネル新設工事」で入札に伴う公告が行われている。

熊本天草幹線道路の宇土―三角間のルートについては、ルートの詳細な検討を行う

「令和2年度 熊本天草幹線道路検討業務」が実施されており、現在、アンケート調査の集計が行われている。

《主な質疑》

問 笹原トンネルの工事は、いつ頃始まるのか。

答 現在、入札に伴う公告が行われており、来年の2月に開札が行われる予定である。その後、契約締結がなされ、来年6月から7月頃には着工されるのではないかとと思われる。

問 熊本・宇土道路について、熊本市側の工事の進捗状況はどうなっているのか。

答 現在、熊本市側の工事は進んでいない状況である。

(委員から意見) 熊本・宇土道路が完成すれば、緑川地区、網津地区の地域政策を進めることができる。熊本市とも協力して熊本・宇土道路の早期完成に取り組んでほしい。

(委員から意見) 網田地区では、幾つか拠点を立てて地下水調査を行っているようだが、農家や周辺住民は、地下水への影響を非常に心配されている。情報収集を行い、農家や関係区長、周辺住民に対して、十分な情報提供を行ってほしい。

決算審査特別委員会



佐美三洋委員長

《審査の経過》

執行部に対し、主要な施策の成果に関する説明書や各種資料の提出、及びあらかじめ本委員会から抽出しておいた事項について説明を求め、監査委員の意見書なども参考にしながら慎重に審査を進めてきた。

委員会の開催は、去る9月28日から11月26日までの計7回。

審査を行う際には、「予算の執行にあたって、議決の趣旨に沿って適正に、かつ効率的に行われたか。」また、その結果、「見込んだとおりの行政効果を達成することができたか。」という点を重視し、更には「今後この行政運営においてどのような工夫改善がなされるべきか。」という視点をもって審査を重ねてきた。

決算の概要

一般会計歳入総額は174億8,542万円に対し、歳出総額は170億8,958万円、差し引き3億9,584万円の黒字。また、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた、実質収支額は3億4,730万円の黒字。

財政指標について、経常収支比率は95.5%で前年度より0.7ポイント増加し、過去5年間を見ても硬直化した財政状況は改善されていない。また、実質公債費比率は、前年度より0.4ポイント増加し9.8%、財政力指数は、前年度と同様の0.520となっている。

起債現在高は197億5,501万円、前年度末より4,123万円の減額、各

種基金の年度末現在高は63億7,723万円、前年度末より2億1,343万円の増額。

次に、特別会計は全部で7つあり、その歳入総額は85億9,768万円に対し、歳出総額は83億2,527万円、差し引き2億7,241万円の黒字となっているが、一般会計から5つの特別会計に10億7,992万円が繰り出されており、漁業集落排水施設整備事業特別会計では法定外繰入が行われるなど、厳しい状況となっている。

歳入確保と予算執行

歳入総額は前年度に比べ4.54%、8億3,068万円の減少。

自主財源については、前年度に比べ2億9,272万円減少しており、自主財源比率は昨年度に比べ0.02ポイント減少の34.8%となっている。

また、不納欠損額は一般会計と特別会計を合わせて5,779万円に上り、前年度と比較すると1,118万円増加。

予算執行については、熊本地震から、未だ復旧・復興の最中にあり、極めて厳しい財政状況の中で、議決の趣旨に沿って適正な運用が行われており、おおむね所期の目的を達成したものと認められる。

《主な質疑》

経常収支比率

問 一般的に経常収支比率が100%を超えるると自由な施策ができないと言われている。今後の推移として、令和4年度の経常収支比率を何と手立てを講じなければ104.9%で推移するとしているが、どのような対応を考えているのか。

答 今後、事業の必要性については、取捨選択を行い、縮小や中止も視野に検討していかねばならないと考えている。

(委員から意見) 令和4年度までに経常収支比率94.0%以下を目標に掲げており、目標達成のため、歳出面では人件費の削減まで考慮しなければならぬとある。人件費削減だけではなく、それ以前に財政健全

化のために何をしなければならぬのか、歳入歳出予算を全体的に見直し取り組む必要があるのではないかと。

地方バス路線維持費補助金

(委員から意見) 宇土―三角間路線に対する補助金の負担が大きいの。この路線には、網田小中学校の通学としての利用もあるというところだが、今後、導入が検討されているデマンドバスも視野に入れて代替的な交通手段の検討を行ってほしい。

宇土南部2期農免農道

問 以前から用地交渉が難航していると聞いているが進捗は。

答 今まで難航していた箇所については、相続人が海外にいる等の理由により、相続登記の手続きに時間を要していたため、この度、当該物件について登記が完了した。今後は、網津地区の市道に接続する箇所までの実施設計が発注され、用地が確定する見込みである。令和5年度までの事業完了を目標としている。

(委員から意見)

豪雨時の排水について、雨水が道路下の轟地区、緑川地区の集落に大量に流れ込んでいる。今後、市道に接続されれば網津地区でも必ずそういった問題が出てくるので、集中豪雨の際の南部農免道路の排水対策を県に要望してもらいたい。

地籍調査誤り修正の状況

問 地籍調査の誤り修正に係る事業費の最終的な見直しは。

答 平成27年度から令和4年度までの誤り修正を完了させるために必要とする事業費の見込み額は、2億1,700万円程度と試算している。

(委員から意見)

当該事業費は、全て一般財源からの支出である。今後、誤りを繰り返さないためにも、その原因と責任の所在を明確にするべきではないか。

河川監視カメラ

問 今年7月の球磨川の氾濫では、死亡者の8割が水死と聞いている。早期避難を促

すためにも河川監視カメラの設置状況について市民に広く周知すべきと思うが現在の取組は。

答 市の広報誌や公式ラインなどで周知を行っているが、今後も梅雨前に改めて広報を行うなど継続的に周知を図っていく。

漁業集落排水施設整備事業

問 現在の加入率は、また加入促進のための取組は行っているのか。

答 令和元年度末時点の加入率は59.8%。今後、地区への回覧と併せて、未加入者へは個別にチラシを配布するよう考えている。

(委員から意見)

事業費は今後も増加する見込みであり、繰入金も発生している。加入者を増やすためには、担当者が未加入世帯に向かい、個別に説明するなどの対策を取らなければ、なかなか加入率は上がらないのではないかと。

小規模特認校制度

問 教職員の加配が望まれているとの説明があったが、可能なのか。

答 教育事務所を通して常に県へ要望しているが、難しい状況である。

(委員から意見)

課題として3点挙げているが、1番大事な課題が抜けているのではないかと。共働き家庭で、送迎が出来ない家庭は制度を利用したくても利用できない。市が制度を作った以上、そういった不公平感はなくさなければいけない。

(委員から意見)

スクールバスの導入が必要ではないか。

文化財の国指定に向けた取組

問 轟泉水道については、新小路付近の水量が最近減ってきている。土中に埋設されている石管の話まりや水漏れについて、市が調査する必要があるのではないかと。

答 今後、轟泉水道全域の測量を実施する予定である。測量後は、細部まで把握できるよう取り組んでいきたい。

令和2年第1回宇土市議会臨時会議決結果一覧

全員賛成の議案等

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第101号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第18号 令和2年度宇土市一般会計補正予算(第11号)について	承認
市長	第102号	宇土市監査委員の選任について	同意

令和2年12月宇土市議会定例会議決結果一覧

賛否のわかれた議案等

提出者	件名	議決結果	表決数 賛成-反対	宇土、みらい			うと しせい会		六政会			宇土市政研 「志」								
				嶋本 圭人	樫崎 政治	村田 宣雄	柴田 正樹	平江 光輝	小崎 憲一	宮原 雄一	山村 保夫	今中 真之助	西田 和徳	野口 修一	佐美三 洋	園田 茂	藤井 慶峰	芥川 幸子	杉本 信一	福田 慧一
市長	第73号	令和元年度宇土市一般会計歳入歳出決算の認定について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第74号	令和元年度宇土市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第77号	令和元年度宇土市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第79号	令和元年度宇土市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第110号	指定管理者の指定について(網田レトロ館)	15-0	○	○	退	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	
市長	第111号	指定管理者の指定について(宇土市健康福祉館)	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第112号	指定管理者の指定について(宇土市老人福祉センター,宇土市西部老人福祉センター)	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第113号	指定管理者の指定について(宇土市養護老人ホーム芝光苑,宇土市軽費老人ホーム(B型)芝光苑)	14-0	○	○	退	除	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	
市長	第114号	指定管理者の指定について(宇土マリーナ)	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第115号	指定管理者の指定について(宇土市網津公民館網引分館)	15-0	○	○	退	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	
市長	第126号	宇土市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
市長	第127号	令和2年度宇土市一般会計補正予算(第13号)について	16-0	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長	第128号	令和2年度宇土市水道事業会計補正予算(第3号)について	16-0	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長	第129号	令和2年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第3号)について	16-0	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長	諮問 第4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	16-0	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長	諮問 第5号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	16-0	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員	発議 第5号	尖閣諸島周辺海域での中国公船による漁船追尾等に関する意見書	16-0	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※○=賛成又は採択,●=反対又は不採択,欠=欠席,退=退席,除=除斥 ※中口俊宏議員は議長職のため,可否同数の場合のみ裁決する。

全員賛成の議案等

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第75号	令和元年度宇土市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
市長	第76号	令和元年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第78号	令和元年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第80号	令和元年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
市長	第103号	宇土市指定管理者の管理する公の施設に係る関係条例の整備に関する条例について	可決
市長	第104号	税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例及び宇土市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第105号	宇土市企業振興促進条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第106号	宇土市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第107号	宇土市河川使用料徴収条例の一部を改正する条例について	〃

全員賛成の議案等

提出者	番号	件名	議決結果
市長	第108号	宇土市営住宅条例等の一部を改正する条例について	可決
市長	第109号	宇土市入学準備祝金給付基金条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第116号	指定管理者の指定について(宇土市民会館)	〃
市長	第117号	令和2年度宇土市一般会計補正予算(第12号)について	〃
市長	第118号	令和2年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	〃
市長	第119号	令和2年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	〃
市長	第120号	令和2年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算(第1号)について	〃
市長	第121号	令和2年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	〃
市長	第122号	令和2年度宇土市水道事業会計補正予算(第2号)について	〃
市長	第123号	宇土市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第124号	宇土市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	〃
市長	第125号	宇土市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	〃

報告

報告番号	件名
第13号	専決処分の報告について 専決第17号 損害賠償額の決定について

熊本天草幹線道路整備促進を国に要望

市議会では、平成10年に「地域高規格道路促進等対策特別委員会」を設置し、熊本天草幹線道路の早期開通に向けて取り組んでいます。

去る、11月6日に、熊本県選出の国会議員及び国土交通省の本省、また、11月13日には、国土交通省九州地方整備局及び熊本河川国道事務所並びに八代河川国道事務所に、宇土市を通る国道57号の現状と課題についての説明を申し上げ、熊本天草幹線道路の必要性和整備促進及び所要の予算額の確保を強くお願いしてまいりました。

東京での要望活動では、松村祥史参議院議員、金子恭之衆議院議員に面会し、意見交換を行いました。また、国土交通省本省訪問の際は、金子恭之衆議院議員にご同行いただき、国土

交通省の事務次官、道路局長に直接要望を伝えることができました。今後の事業促進に繋がる大変実のある要望活動でした。



編集後記

市議会も新体制となり、議会だよりも今号から新しい編集委員での発行となりました。

議会の活動を市民の皆さんにお伝えする「議会だより」は、市民の皆さんと議会をつなぐ大切な紙面だと考えています。今後も内容の充実を図りながら、分かりやすく読みやすい議会だよりを目指してまいります。



編集委員

委員長／樫崎政治 副委員長／野口修一
委員／園田茂 委員／西田和徳

市議会の傍聴のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、12月定例会では一般傍聴の自粛をお願いしました。

今後の市議会の傍聴につきましては、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議(定例会・臨時会)の会議録を公開しています。

[アドレス] <https://www.city.uto.lg.jp/>

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー(仮設庁舎1階ロビー)、市立図書館で閲覧できます。

なお、令和2年12月定例会の会議録は、令和3年3月定例会以降に閲覧可能です。

[お問い合わせ] 議会事務局 0964-22-1111 内線234

令和3年3月 定例会 会期日程

3月定例会の日程は、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。(2月上旬に決定予定) 広報うと3月号にも掲載予定です。



環境保護印刷の
水なし印刷で
印刷しています。

印刷/敷島印刷株式会社